

令和2年度 施設長会（12月） 会議資料

（川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会）

— 議 題 —

- 1 各プロジェクト委員会の進捗状況について …資料1

- 2 情報交換会について …別添資料

- 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会について
(1) 第56回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第19回かながわ高齢者福祉研究大会合同大会について …資料2

- 4 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会について …資料3

- 5 首都圏高齢者福祉協議会について …資料4

- 6 その他
 - (1) 施設部会研修会について …資料5
 - (2) 食糧支援かわさき+学生エールについて（チラシ参照）
 - (3) 人材バンク・高齢センターより

令和2年度 川崎市社会福祉協議会 関連職員の人事異動について

関連する役員、部課の職員・人事異動は次の通りです。

令和2年12月1日付

役職	現	前	備考
常務理事	邊見 洋之	上野 葉子 (退任)	
事務局長	福芝 康祐		
事務局次長・総務部長	村石 里美		
福祉部長	小澤 竜騎 (介護支援部長)	関川 真一 (総合福祉センター)	
施設・団体事業推進課課長	山本 直美		大都市社会福祉施設協議会 老人福祉センター 障害者団体部会 保育協議会
施設・団体事業推進課課員	金子 泰彰		施設部会 老人福祉施設協議会 児童・母子福祉施設協議会 障害者福祉施設協議会
	勝俣 亜紀子 (嘱託)		民間社会福祉施設連絡協議会 経営改善支援事業
	—	志田 豊茂 (退職)	
	—	中嶋 仁詞 (かわさき老人福祉・ 地域交流センター)	
地域推進課課長	石川 直和		
ボランティアセンター所長	塚田 治孝		
介護支援部長	下平 博司 (事業部長)	小澤 竜騎 (福祉部長)	
事業部長	峰 浩一 (新規採用)	下平 博司 (介護支援部長)	
福祉人材バンク所長	山下 久美子		
人材開発研修センター所長	荻野 るりか		

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会

(1) BCP に関する研修会について

目的：BCP 未策定施設が作成に取り掛かるきっかけを作るとともに、
BCP 策定済み施設に対してもBCPを再検証する機会を設け、
市内施設のBCP策定率向上並びに災害対応の充実を図る

講師：ニュートン・コンサルティング株式会社

※平成 29 年度に研修会の際に講師依頼

方法：オンライン

※オンライン参加出来ない施設もあるかもしれないため、
実際の会場を確保または録画したものを後日配信する

日程： 月 日 () 時 分～ オンライン・エポック中原
月 日 () 時 分～ オンライン・エポック中原

次回：第 3 回実行委員会 ※別途調整いたします。

2 人材プロジェクト委員会

(1) 委員会等実施状況

第 4 回 / 11 月 18 日 (水) 14 時～ (オンラインとオフライン)

※協議に入る前に初めての試みである、各区社協福祉教育担当者との顔合わせを開催
現在取り組み始めているオンライン学習や各区の福祉教育の現状について情報交換

(2) 協議概要

・各ワーキンググループの進捗状況について

○人材定着グループ

⇒ 各施設に協力して頂いた「コロナ禍における人材育成 (研修) の取組みについて」、
アンケート結果を 10 月の施設長会で報告

今後、このアンケート結果を参考に各施設の現状や工夫点 (少人数・短時間・オンライン開催等) について、情報提供等を研修機関等に対して行う。

○人材発掘グループ

⇒ ・ハローワークでの福祉相談会について

日 時：10月23日（金）午後1時30分から

場 所：ハローワーク川崎

内 容：①川崎市社会福祉協議会（施設部会）について

②福祉の仕事・資格の案内

③福祉の現場からの声

講師：川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会

人材プロジェクト委員会 小林秀夫 氏

④市内社会福祉施設の求人情報の提供

※今回は初心者向けだったので、経験者向けに下記日程でお願いしたい。

（候補日）1/22（金）・1/27（水）・1/29（金）11時～16時

・スケッターについて

人材プロジェクト委員会として話を聞いたが、老施協施設長会等で情報提供するには各都県市の状況や実際にスケッターを利用している施設に話を聞くなど、もう少し精査した方が良いのではないか。

個別で希望施設を募るなど、今後の進め方についてはワーキンググループで再検討。

○人材に関する情報収集、提供グループ

⇒ ・シグマスタッフについて

人材プロジェクト委員会として話を聞いたが、当初シグマスタッフ＝外国人介護人材ということだったが、介護人材マッチング・定着支援事業にも体系的に取り組まれている。施設長達にもなかなか案内する機会が少ないので、次回12月の施設長での情報交換のテーマにしてはどうだろうか。

→ 本日この後に株式会社シグマスタッフさんより講義予定

・行政が実施する各種人材確保施策について

※担当より連絡があり、年内で正副委員長、人材バンク等を集めて次年度に向けて打合せをさせてもらいたい。

次回：第4回実行委員会

1月20日（水）14時～ オンライン・エポック中原

**第 5 6 回関東ブロック老人福祉施設研究総会・
第 1 9 回かながわ高齢者福祉研究大会合同大会【今後の予定】**

1 実行委員会

日 時：令和 3 年 1 月 2 2 日（金） 1 4 時 3 0 分～

会 場：神奈川県社会福祉会館またはキャメロットジャパン

2 発表施設等

研究発表や介護技術にエントリーして頂いている施設には、
個別に連絡が随時入るかと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 合同大会当日

日 時：令和 3 年 6 月 3 0 日（水）・ 7 月 1 日（木）

会 場：パシフィコ横浜

関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 第2回代表者会

日 時：令和2年11月9日（月）10時30分から正午

会 場：リモート

参加者：磯野会長

議案 第56回関東ブロック老人福祉施設研究総会（神奈川大会）の開催について

○県老協会長である鈴木会長（横浜市社協）より説明

- ・ 合同大会延期に対する各種協力に対するお礼
- ・ 来年度の合同大会については、新型コロナウイルス感染症対策を十分にしたうえ、参集して開催する方向
- ・ 参加者は当初2000人の予定だったが、半分の1000人程度に変更し、密集を避ける
- ・ オンラインでの開催は経費的に難しいと判断した。

●他都市より意見等

- ・ 全国老協の大会では発表予定だった施設から辞退を言われた。この状況では参加者をどこまで出せるかわからないので、会長として各施設に依頼もしにくい。
- ・ やはりオンラインでの開催は出来ないのか。
- ・ 会員施設には県外には出ないようにお願いしている状況。オンラインに伴いキャンセル料や経費が嵩むならば、関東ブロックの予算で補填したらどうか。
- ・ 全国老協の大会も中止や、当初のプログラムを変更して実施している。
- ・ 可能な限り合同大会は中止しないで頂きたい。オンラインも含めて進めるために関東ブロックで補填をすればよいのではないか。
- ・ コロナ禍での各施設の取組状況は聞きたいと思う。全国の先駆けとして全国老協からも経費負担をお願いできないか。

○県老協会長である鈴木会長（横浜市社協）より説明

- ・ 開催時期に新型コロナウイルス感染症の状況がどうなっているか。開催の有無も含めて判断しなければならない。オンラインでの同時配信は300万円から400万円程度必要となるので、検討はしたが実施は難しいと判断した。神奈川県老協で検討は続ける。
- ・ 3月には各都縣市に開催要項を配布予定となっている。配信するとして、同時配信とするのか、後日配信にするのか1月には決定したい。

○関ブロ田邊会長より

- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施方法（対面・オンライン）を検討する
- ・ 予算については、かながわ大会と同時開催の部分も含めて検討していく。
- ・ 1月に関東ブロックの正副会長会議と神奈川県で最終判断を行う。

令和 2 年 11 月 吉日

厚生労働大臣 田村憲久 様

首都圏高齢者福祉協議会
会長 西岡 修

要望書（案）

厚生労働省におかれましては、平素より高齢者福祉の向上に多大なるご尽力をいただきまして誠にありがとうございます。

私たち首都圏高齢者福祉協議会は、東京都・神奈川県・埼玉県・横浜市・川崎市・相模原市・千葉市・さいたま市の老人福祉施設協議会で構成する団体です。さて、10月30日に公表された「令和2年度介護事業経営実態調査」（令和元年度決算）の結果によれば、特別養護老人ホームの経常増減差額比率（収支差額率）は、全国平均でプラス1.6%でした。前年度に比べて0.2ポイントの減となります。給与費の割合は、全国平均で64.6%でした。一方、介護報酬の基本報酬の算定並びに地域区分の上乗せ割合における人件費率は、特別養護老人ホームでは45%をベースに設定されています。前述の調査結果の給与費の割合と比べ、20%ほど乖離しています。このため、級地間の地域差の調整が適正に行えていない状況にあります。

現在、深刻な介護人材不足を背景に、都市部を中心として人件費が高騰しています。現在の介護報酬に関わる人件費率は実態を反映していないばかりかサービスの質の低下を招く恐れがあります。もとより、社会福祉法人の安定性・将来性が危惧されます。当然、福祉充実残額がない法人が増加し、地域福祉の低下にもつながります。

つきましては、介護報酬に関わる人件費率については下記のとおり見直しを要望いたします。

記

- 1 介護報酬に関わる人件費率については、介護事業経営実態調査結果にもとづく人件費率を用いること
- 2 介護報酬に関わるサービス類型ごとの人件費率については、現行の45%、55%、70%の3段階から細分化して45～70%まで5%ごとの6段階に見直すこと

以上

令和2年度 第1回 首都圏高齢者福祉協議会

□日時：令和2年10月29日（木）10時～12時
□ZOOMによるWEB会議

▷ 首都圏高齢者福祉協議会 内規及び名簿 1

挨拶

【協議事項】

1 自己紹介

2 正副会長の選任について

3 関東ブロック令和元年度(平成31年度)決算に基づく特別養護老人ホーム収支状況調査合同実施について(首都圏抜粋版) 3

4 要望活動について
(参考資料)

- ・平成30年度要望書(案)未提出 8
- ・平成29年度要望書(厚生労働副大臣あて) 9

【名簿】

No.	都都市名	構成団体名	都都市での役職	氏名	出欠
1	東京都	東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会	会長	西岡 修	出
2			副会長	田中 雅英	出
3			副会長	今 裕司	欠
4			総務委員長	野村 博之	出
5			顧問	高原 敏夫	出
6	埼玉県	埼玉県老人福祉施設協議会	副会長	神戸 章	出
7	さいたま市	さいたま市老人福祉施設協議会	会長	小松 丈祐	出
8	神奈川県	神奈川県高齢者福祉施設協議会	会長	加藤 馨	出
9	横浜市	横浜市社会福祉協議会 高齢福祉部会	部会長	鈴木 啓正	出
10			副部会長	西山 宏二郎	出
11	川崎市	川崎市老人福祉施設事業協会	会長	成田 哲夫	欠
12	川崎市	川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会	会長	磯野 利男	出
13	相模原市	相模原市高齢者福祉施設協議会	会長	大久保 祐次	欠
14	千葉市	千葉市老人福祉施設協議会	会長	鳥越 浩	出

＜事務局＞(出席のみ)

15	東京都	東京都社会福祉協議会	事務局	長谷部 早苗	出
16		東京都高齢者福祉施設協議会	事務局	金子 新太郎	出
17	埼玉県	埼玉県老人福祉施設協議会	事務局長	星野 廣和	出
18	横浜市	横浜市社会福祉協議会 高齢福祉部会	事務局	長谷川 篤史	出
19	川崎市	川崎市老人福祉施設事業協会	事務局長	吉田 孝司	出
20	川崎市	川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会	事務局	金子 泰彰	出

施設部会研修会について

○ 今回の研修会について

種別や協議会が異なっても同じテーマ、共通課題として捉えられる
「①オンライン」と「②災害」について今回の施設部会研修会のテーマとする。
対象：市内会員社会福祉施設 約300施設

①社会福祉施設でのオンライン（ビデオ会議等）活用について

目的：ICTを導入することのメリットやオンライン会議のやり方等をまだまだ知らない施設が多くある。また、今回のコロナ禍の影響で施設に対してはICT化を整える補助金等も出ている。
そのような状況を踏まえ、社会福祉施設でのオンライン（ビデオ会議等）活用について講話や事例を用いながら会員施設に伝える。

内容：(1) オンライン（ビデオ会議等）活用について ※アンケート結果を踏まえ
講師：NEC（日本電気株式会社）
(2) 市内社会福祉施設でのオンライン（ビデオ会議等）を活用した事例について
講師：既にオンライン（会議や研修、採用等）を活用している施設
(3) 質疑応答 ※終了後、個別相談を設ける

形式：対面・オンライン

日程：1月21日（木）午後 エポック中原7階大会議室

1月22日（金）午前 エポック中原7階大会議室

※開催にあたり、市内社会福祉施設のオンライン活用状況について、Web上（Google フォーム）でのアンケートを実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
そのアンケート結果に基づき日程を1日の開催にするか、2日に分けるか（例：初級編、中級編）検討いたします。

②災害に関する研修会について ※今年3月に中止

目的：毎年のように地震や大雨による甚大な被害が発生し、「東日本台風（台風19号）等」では川崎市内の社会福祉施設でも被害が発生しました。

実際に被災された施設からのお話と実際に多くの被災地でDMAT（災害時派遣医療チーム）の一員として活動し、川崎市災害医療コーディネーターでもある講師の方のお話を聞き、災害に対する対策や同じ地域の施設間で協力できることを再考するための契機となるようにする。

内容：(1) 講話「東日本台風（台風19号）による被災施設から」

○社会福祉施設みやうち（高齢・障害）

○なごみ保育園（保育）

(2) 講義「災害に強い社会福祉施設を目指して ～初動対応、何をすべきか～」

講師：川崎市立看護短期大学教授・川崎市災害医療コーディネーター 大城健一 氏

(3) 質疑応答

質問内容は事前アンケート及び当日質問の場合はチャットからいくつか選択

(4) 交流会 ※各グループ5名前後

「災害時、平時からお互いにできることは？」

形式：対面・オンライン

日程：

（対面） 3月5日（金）午前 エポック中原7階大会議室・第3会議室・6階研修室

（オンライン） 3月8日（月）午後 エポック中原7階大会議室・第3会議室・6階研修室

※交流会「災害時、平時からお互いにできることは？」を近隣施設との顔合わせの機会とするため、対面とオンラインでは運営上のサポートが難しく、形式によって開催日を分けたいと考えています。

地域生活支援SOSかわさき事業

食糧支援かわさき + 学生エール

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活に困っている
川崎の学生の皆さんへ食糧をお渡しします

令和2年 **12月19日** **土** 午前▶ 10時～12時
午後▶ 13時～15時

川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）7階 大会議室
[川崎市中原区上小田中6-22-5 / JR南武線「武蔵中原駅」徒歩1分]



対象

新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困っている、川崎市内在住、在学の主に一人暮らしの学生

「#Share Smile かわさき」には、本取組を通じ、支援の輪と笑顔が広がってほしいという願いが込められています

内容

- ①食糧配付（1週間分程度の食品）
- ②情報提供（各種相談窓口、福祉施設でのアルバイトなど生活に役立つ情報）



食糧配付

お米、レトルト食品、乾麺、缶詰など



情報提供

資料だけでなく、直接相談にも応じます

- ⚠ 食品の内容は変更になる場合があります
- ⚠ 当日、食品を入れる袋はご用意しますが、各自必要でしたらキャリーバッグ等ご準備ください

お申込・当日の流れ（フォームが難しい方など、お気軽にお問合せください）



申込期間
令和2年
11月25日（水）～
12月11日（金）
17時まで

問合せ

食糧支援かわさき（食かわ）



川崎の学生の皆さんを応援します

川崎市社会福祉協議会は、コロナ禍の影響によりアルバイトが減少するなど、生活に困っている学生の皆さんへ食糧をお渡しします。

一人暮らしの学生(大学・短大・専門学校)を対象としていますが、親元に居る方でも、困っている場合はお申し込みください。

友達や知り合いにも「こんな情報があるよ」と、ぜひ広めてください。



お申込から当日のお渡しまで



食糧は、企業・社会福祉法人等よりご寄付いただいた物です

1 フォームから申込をしてください。

(「*」のマークは入力必須項目です。ご注意ください。)

申込フォーム <https://forms.gle/LBvjGcAwGYcyaHrc9>

※「フォームでの申込が難しい」、「質問がある」など、何かございましたら、地域生活支援SOSかわさき事業事務局にお問合せください。



2 申込が完了すると、入力いただいたメールアドレスに受付完了のメールが届きます。

※メールが届かない場合は、申込ができていない可能性がありますので、確認のためお問合せください。

3 当日、「申し込み完了メール」と「学生証」をご提示ください。

※学生証がない方は、学生の身分がわかるものをお持ちください。



#ShareSmileかわさき について

川崎市社会福祉協議会では、地域の皆さまや関係機関・団体から寄せられた新型コロナウイルス感染症の影響による困りごとや支援をしたいという声をつなぐため、「Share Smile かわさき 心のキヨリは離れない～今できること～」を掲げ、様々な支援の取り組みをしています。

ご賛同いただける方は、「#ShareSmile かわさき」とハッシュタグを付けて、SNSへご投稿ください。



特設サイト



Twitter



問合せ

食糧支援かわさき (食かわ)



社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 地域生活支援SOSかわさき事業事務局

☎ 044-739-8716 (8:30~17:00 月~金) ✉ sharesmile@csw-kawasaki.or.jp